

自己研鑽

課題に基づく自己研鑽

- OJT研修の報告書作成に係る調査研修を行う
- 事業の使命と目標を明確にする
- 資金調達計画と収支計算を練る
- ビジネスプランを練り上げる
- 集合研修の報告書作成に係る調査研究を行う
- 地域の資源を再発見する
- ビジネスパートナーの輪を広げる
- 問題の発見力と解決力を養う

9月15日  
ONEDAY

- 集合研修で出会った仲間と情報交換
- NPO関連の資料収集
- インターンシップで学んだことを今後の自己の研究課題に含め、研究計画を作成
- 研究計画についてゼミのメンバーと議論



京都大学大学院  
堀口 恭代さん

私は、協働という分野において、実践例を学びたく、本インターンシップに参加しました。  
自己研鑽では、まず、NPOの協働に関する文献調査をし、現在の日本のNPOの協働の現状について学びました。例えば、NPOと行政との協働で、実際は、委託-下請け関係になり、NPOの本来の目的が達成できない現実もあるということなどが分かり、今後、解決すべき課題となると考えました。  
また、大学のゼミメンバーとも話し合いを行いました。協働には中心となるコーディネーターが必要なのか、そうでないのかといった議論や、地域の資源となるものの発見はどのように行われているものなのかといった議論をグラウンドワークの実践例と照らし合わせながら行いました。

9月9日  
ONEDAY

- 近隣の福祉施設へ行き、職員、利用者、保護者からの情報収集
- 「お笑い福祉士養成講座」の主旨説明及び意見交換



お笑い福祉士  
めんぼーくん  
河合 孝彦さん

当初、私が自己研鑽で重点を置くべきことはNPOの基礎的知識であったり、地域コミュニティ・ビジネスの立ち上げ方だと思っていました。  
しかし研修直後、友人の教員を自殺で亡くし、「お笑い福祉士養成講座」を早く始めたいと強く感じました。医療、教育、福祉従事者の力になり、その対象者をより良くする方法としてのこの事業。自然と現場へ足は向き、対人専門職員や、利用者、保護者ら関係者に熱き主旨を説明しました。その後、情報や意見交換などのコミュニケーションに重点をおいた自己研鑽でした。

OJT研修事例

まちなびや

静岡県静岡市

子どもたちの多様な「あそび・まなび・しごと」を応援しながら、大人自身も学ぶという考えで、子どもと大人の「学び」が共鳴しあうプロセスを創っています。具体的な活動としては、駄菓子屋コーナーを設置した「とまり木児童館」の運営や「やつやま再生プロジェクト」などを行っています。

実行団体代表者

代表 弓削 幸恵さん  
まちなびや

研修生には今回の活動の中で、自分で何か行動を起こす時、活動する時、私たちの団体が提唱している「自分店を作る」といったゼロから自身の努力で何かを作り上げていくことの大変さと同時に楽しさも感じてもらえたと思います。「就職」ではなく「創職」を目指してほしいです。

子どもたちと一緒に、放置竹林の整備、畑の開墾、草刈り、道普請、道具づくりなどの体験や、遊びと学びの屋台による放課後の交流を体験し、「学び」と「遊び」が持つさまざまな可能性を感じることができる研修にしました。

OJT研修内容 (1例)	1日目 谷津山の冒険遊びへの参加、だがしや店番補助 2日目 だがしや店番、まちなびやについてヒヤリング 3日目 関係者ミーティング参加、ちび太(だがしや)店番補助 4日目 広告記事打合せ参加、ヒヤリング 5日目 地球の声(だがしや)店番補助、ヒヤリング
研修期間	9月14日～9月23日(研修生ごとに5日間)
受入れ人数	2名



伊豆どろんこの会

静岡県伊豆の国市

下駄ダンスパフォーマンスやどろんこフェスティバルなどのイベントコーディネートを手がけてきたが、この度「伊豆の観光を変えよう!」をコンセプトに、伊豆の国市を中心とし、自然体験イベントの受け皿や体験型アクティビティの案内人となる「NPO法人伊豆どろんこの会伊豆自然体験案内人」を来年2月の設立に向け準備中です。

実行団体代表者

代表 白井 忠志さん  
伊豆どろんこの会

「伊豆の自然に、人に、会いに行こう!」と思ってもらえるようなコミュニケーションを創造していきたいと考えています。それには笑顔が大事だが、好きでないと笑顔にならない。是非笑顔になれるソーシャルビジネスを目指して欲しい。今回の研修を通じて、そういったことを感じてもらえたらうれしく思います。

地域の方々とのコミュニケーションを図ることを目的に、子どもたちに川遊びを教えたり、地元商品を紹介するイベントのサポートのほか、農業体験、ホテルでのレストラン業務、掃除など、多岐にわたり研修しました。

OJT研修内容 (1例)	1日目 下駄ダンス&パフォーマンスコンテスト応援 2日目 カヤック自然学校手伝い 3日目 だがしや学校手伝い 4日目 各種イベント手伝い 5日目 ホテルレストラン業務研修
研修期間	8月17日～10月1日(研修生ごとに5日間)
受入れ人数	9名

